

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくいていひえいりかつどうほうじんこくさいぶんかこうりゆうそくしんきょうりかるといべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート			団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明			
制作団体所在地	〒 227-0062	最寄り駅(バス停)	東急電鉄田園都市線青葉台駅	
	神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607			
電話番号	045-516-6515			
ふりがな 公演団体名	とくいていひえいりかつどうほうじんこくさいぶんかこうりゆうそくしんきょうりかるといべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート			団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明			
公演団体所在地	〒 227-0062	最寄り駅(バス停)	東急電鉄田園都市線青葉台駅	
	神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607			
制作団体 設立年月	平成23年10月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表理事/堅田 政明 理事/谷口 修 理事/岩上精男 監事/長谷川 茂		代表理事(1名)⇒理事(2名)⇒事務局(3名) 理事会 ⇒ 運営委員会 企画部門 - プロジェクトチームを編成 (制作、演出、スタッフ、キャスト、ダンサー他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次 公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定 しています。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	堅田政明	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	堅田浩巳	
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	hkatada12@gamil.com			

<p>制作団体沿革</p>	<p>■平成23年10月法人認証(神奈川県横浜市) ・平成24年1月横浜・地区センター自主事業/ヒップホップダンス教室事業支援 ■平成25年12月平成26年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ・講師派遣事業13校採択(神奈川県立横浜南養護学校他 ■平成27年5～6月平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」採択 ・学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 【福島県他小中学校(含養護学校)計18校実施済】 以後、平成27年度から令和5年度にわたり文化庁巡回公演事業:現代舞踊「ヒップホップダンス(ストリートダンス)」分野で唯一制作・公演する団体として又、同じく文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業、更に直近ではユニバーサル公演事業や文化施設等活用事業等々に於いて活動領域を広げ地域的、学校種別的にも幅広く活動し、多数の学校現場(令和5年度は130校程:多年度採択・継続実施校含)でも高い評価と信頼を得ている。</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>■学校公演実績(文化庁事業) 現代舞踊「これがヒップホップダンス！」に関して</p> <p>1) 平成27年 5～6月 平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福島県他小中学校(含養護学校) 計21校実施</p> <p>2) 平成28年 5～6月 平成28年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 宮城県・青森県・北海道他小中学校 計17校実施</p> <p>3) 平成29年 5～7月 平成29年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 京都府/市・福井県・石川県・富山県・新潟県/市 計14校実施</p> <p>4) 平成30年 5～7月 平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・相模原市・名古屋市 計21校実施</p> <p>5) 令和元年5月～7月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 岡山県・広島県・山口県・岡山市・広島市 計14校実施</p> <p>6) 令和2年10月～令和3年3月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 東京・千葉・茨城・山梨・千葉県 計26校実施</p> <p>7) 令和3年10月～11月学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 三重県 滋賀県 大阪府 奈良県 和歌山県 / 大阪市・堺市 計26校実施) 8)</p> <p>令和4年6月～2月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 兵庫・四国4県並びに神戸市 計26校実施) 9)</p> <p>令和4年6月～1月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福岡・熊本・長崎・千葉市等 公演実施中</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>■文化庁事業:芸術家派遣/コミュニケーション能力向上事業並びにユニバーサル公演事業等 横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等に於いて個別支援学級(特別支援学級)及病院内学校にプロダンサーによる『ダンス鑑賞とワークショップ授業』を行い、非常に好評を得ています。 平成27～31年度も継続実施し、特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業の実施をしています。平成27年度学校巡回公演では福島県立大笹生養護学校並びに石川養護学校で公演を行いました。更に同30年度、31年度に於いては、神奈川県立麻生養護学校や広島県立三原特別支援学校等々毎年度複数校で本巡回公演が支援教育校に於いても実施され、児童生徒はもとより教員方からも高評価を得ています。 又、コミュニケーション能力向上事業は29年度から前述の特別支援学校でも継続実施され、昨年度からは大阪府立八尾支援学校も加わり、その東西での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環となっています。 更に令和2年度に於いて新潟県立東新潟特別支援学校、広島県立三原特別支援学校(中学部)でも採択となり同年度計4校の事業実施が予定されました。令和3年～4年度では新潟県立特別支援学校3校、大阪府下で2校と神奈川県では学校法人1校の計6校となり東西の各校の支援学校等で実施に向け鑑賞・体験授業等準備が進み、以降毎年度各地の支援学校等に於いて実績を重ねています。</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>http://npo-cultivate.org/</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス！』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	学校巡廻公演(2024)・ -日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス！』 企画/制作: 堅田 浩巳 堅田 政明 構成/演出: 今城 裕治 振付: 江頭 耕治 監修: 佐藤 隆太 公演時間 90 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	公演時に使用予定の当該楽曲
	該当事項がある場合	権利者名	使用楽曲による	許諾確認状況
演目概要	<p>この数年でストリートダンスは一部愛好家や若者文化の象徴から脱皮し、現在世界中で多くの人々に支持され拡大しています。現在テレビ、音楽やファッション、広告等様々な文化・芸術に影響を与え、又2024年開催のパリオリンピックではビップホップダンスの中でブレイクダンスが正式競技種目として決定となり、特に世界的にもレベルの高い日本人若手ブレイクダンサー(男女共に)の注目度が高くなっています。更に健康維持・増進に役立つダンス・運動として社会的に幅広い分野や高齢層に至るまでに大きく広がり、支持を受け成長を拡大し続けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過去10年以上の間に多数の小中学校での学校コンサート(公演)実績も有し、多くの小中学生が鑑賞しています。 ●このステージを学校現場で本格的に導入、実施され浸透してきたダンスを次世代を担う児童・生徒達向けに、よりブラッシュアップ。更に様々な文化芸術的要素も大胆に取り入れ表現、世界に誇れる日本人トップダンサーを起用し、文化交流史としても長い時間を重ねてきたお隣の国、韓国のトップダンサー達も参画します。 ●本公演に参加する韓国のダンサーは特に来日経験も豊富で日韓合同のステージも多数経験している実績豊富なダンサーを起用しています。このチームが優れた高い文化・芸術性を表現し、他では決して得ることが出来ない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を与え、もっと楽しく、ダンスを、身体を動かしたくなる様なども盛り上がるステージです。 ●因に本公演の構成内容をご覧ください。⇒【別添シート①】 			
演目選択理由	<p>【ヒップホップダンスを選択した背景/理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒達やその他様々な分野や領域へストリートダンスの認知の急速な広がりや深まり、そして定着が全国的に顕著になりました。 ●ストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と高まりがあります。 ●アフリカや南米の民族文化をベースとした米国生まれ・発祥で、多文化・芸術を入れ発展した多様性を象徴した代表的な文化のひとつが、韓国や中国等アジアやヨーロッパ、東欧各国の若者達を中心に強い支持を得て、人種や性差を越え幅広い層に受容され浸透しています。 ●ダンス『現代的なリズムのダンス』が学校教育、体育教育へ、平成23年～25年度から導入されて来ました。特に平成24年度、中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広く若年層から中高年齢層にまでダンスが認知、自らも取り組む姿が多く見られます。 ●ダンスの児童・生徒達への広がり: 各種キッズダンス大会が全国各地で多数開催され、更に現在も増え続けています。 ●日本人ダンサーの世界的活躍: 高度な技能・芸術性でトップ、世界をリードします。(各種ストリートダンスの国際大会に於いて連続世界一、優勝を獲得) ●そして、特に日本人若手ダンサーが世界トップレベルで大活躍しているブレイクダンスがリオ・オリンピック(2018年ブエノスアイレスユースオリンピック) 競技種目に加わり、金メダル等トップの成績を獲得する等更に注目され、小中学生や高校生の間で関心が一層広がっています。又、2024年開催のパリオリンピックでもブレイクダンスが競技種目として決定されています。 ●日本同様、世界大会で上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画し、そのダンスを披露するだけではなく、生徒達とも交流・触れ合いを通じ互いの文化を知る、相互に理解しあい友情をはぐみ交流を重ねることの大切さを学びます。 ●又、令和3年度文化庁事業である『子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業』に於いても、ブレイクダンスを中心としたヒップホップダンスの鑑賞・体験型の授業を中学校(川崎市)を中心に複数の地域で実施しました。⇒【別添シート②】 			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●事前ワークショップでの初めてダンス体験から本番のダンス参加まで、生徒達へのダンスの指導とプロのトップダンサーとのコミュニケーション・相互交流が多数行われます。 ●世界レベルのダンス公演の鑑賞 ●本公演でのダンス参加 ●事前ワークショップでのチーム別結果発表や合同でのダンス参加 ●教職員の方々も児童生徒と共にワークショップや公演時にダンスに参加頂くことが可能です。多くの学校公演で校長先生や先生方が積極的に舞台上でパフォーマンスを披露され、終了後これまで以上に児童生徒とのコミュニケーションが活発となった等の感想を多数頂いています。 ●日韓ダンサーとの質疑応答や相互交流・文化交流 ●ご希望によりステージアート(舞台芸術・技術)体験ステージ設営体験(舞台作り、照明、音響等)公演やワークショップで使用する音楽(曲目)を校内放送で流し、生徒達に親しんで頂き、より効果性を高めます。 			

出演者	※別紙『出演者リスト』をご覧ください。																										
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	<table border="0"> <tr> <td>出演者:</td> <td>10</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>15</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><hr/></td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>25</td> <td>名</td> </tr> </table>	出演者:	10	名	スタッフ:	15	名	<hr/>			合計:	25	名	運搬	<table border="0"> <tr> <td>積載量:</td> <td>4</td> <td>t</td> <td>ワイド</td> </tr> <tr> <td>車長:</td> <td>8.64</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>台数:</td> <td>1</td> <td>台</td> <td></td> </tr> </table>	積載量:	4	t	ワイド	車長:	8.64	m		台数:	1	台	
出演者:	10	名																									
スタッフ:	15	名																									
<hr/>																											
合計:	25	名																									
積載量:	4	t	ワイド																								
車長:	8.64	m																									
台数:	1	台																									

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	午前8時	午前8時～午後0時	午後1時30分～ 午後3時	0分 (水分補給 有)	午後3時30分～ 午後4時30分	午後5時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月
	20日	10日	3日	20日	20日
	11月	12月	1月	計	133日
	20日	20日	20日		
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	学校のご希望により検討します
		鑑賞人数目安	10～8000名程



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	数名～800名以上も可
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>【実施形態及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作の基本を習う ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする <p>所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>【実施形態のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作基本を習う ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする <p>所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>【事前打合せ等準備】</p> <p>特に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、平成27～令和4年度の学校巡回公演に於いても複数の公私立養護学校でワークショップと上演を行っています。更に、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業(文化庁)も、小中学校個別支援(特別支援)学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度から、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され令和4年度では全国10校以上で準備・実施が進んでいます。</p> <p>これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をととても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを体感して頂きたいと強く思っています。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①困事業に対する取り組み姿勢</p> <p>●本事業申請の背景にはダンスの更なる社会的認知の広がりや浸透があります。</p> <p>1)ダンスの学校教育への導入。特に平成24年度中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広い若年層から中高年齢層にまで認知される様になり、ヒップホップの児童・生徒達への広がり:各種キッズダンス国内大会の開催、更に2018年リオデジャネイロ・ユースオリンピックでのブレイクダンスの競技種目採用とその出場した日本の若き男女ブレイクダンサー達の活躍等もありました。</p> <p>そうした中で、2025年のパリオリンピックではブレイクダンスが正式な競技種目決定、ますますヒップホップダンスに対する認知度が高まり、都市部のみならず日本各地のダンススタジオに於いても子供たちを中心に指導の需要が更に高まっています。又、毎年の様に新たな大会等が開催されこのヒップホップダンス分野の様々な取り組みが大きく増加する傾向にあり今後も続くと考えられます。</p> <p>2)そして、日本人ダンサーが、若手の多くを含め世界的活躍をし、高度な技能・芸術性で世界をリードしています。</p> <p>3)本公演は児童生徒がダンスを通じ、他国との文化交流の重要性を学び、その現場で体感出来る内容です。</p> <p>●この様に本学校巡回公演に於いてダンスという文化芸術を通じ多くの子供達に対し、</p> <p>1)優れた文化・芸術への関心度の深化や将来の芸術家育成、文化・芸術鑑賞力の更なる向上</p> <p>2)健康な体や体力作り、体力向上への取り組み</p> <p>3)レッスンを通じた子供達のチームやコミュニケーション能力の向上</p> <p>4)複数名で取り組むダンスでのチームワークの大切さ、必要性和自らがリーダーシップを発揮しチームを創る力の育成・向上</p> <p>等体感・実感を与えます。そして誇るべき日本文化を踏まえた他国との交流等、時代に沿った文化・芸術分野の新たな潮流と先駆的な内容を次世代を担う子ども達に提供し、理解を深める特に時を得た機会・内容と考え、本学校巡回公演に全力で取り組んでいます。</p>
	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>●平成27年度～令和3年度実施の巡回公演やこれまでの小中学校等でのワークショップ、芸術家派遣事業、コミュニケーション能力向上事業他各種学校コンサートの経験から、実施校との取り組みは、まずスタッフが実施校を訪問する事が重要と考えます。スタッフとのヒアリングや打ち合わせを重ね、要望・希望を十分に汲み取り可能な限り活かす。信頼関係を強く構築することが基本で重要と取り組んでいます。そして、</p> <p>1)ワークショップと本公演の連動性を更に高めるため、まず先生方や子ども達の希望によりダンサーと共演が出来る場面を先生方と協議、ご相談を行い実施することも可能です。</p> <p>2)区域内で学校別チーム(生徒チームや教員チーム・PTAチームも可能)によりダンスコンテスト開催。地元・地域活動に寄与、参加者のモチベーションアップを図る。</p> <p>3)ダンサーが先生方と協力や補助させて頂きながら様々な形態の文化芸術等関連の授業を行い、生徒達の学習意欲と参画意識を高める。</p> <p>等々が様々な工夫が考えられ各地で取り組みが進んでいます。</p> <p>●更に本公演と共に重視されるワークショップの実施上の工夫点としては、</p> <p>1)ダンスの文化的・歴史的発展過程や側面・背景を多文化共生や文化・芸術誕生として捉え、児童生徒達に座学や実技で楽しく興味を高めながら本公演に臨む。</p> <p>2)地域的な連続性により上記の深堀とその質の向上が望めます。更に子ども自身で文化や芸術分野への影響を調べる等学習意欲を高める効果的取り組みが可能。</p> <p>3)そして本公演後には、生徒や教員・PTAの方々に対するアンケート調査、並びにヒアリング調査。更に、積極的参加を促す為、PTA・保護者や地域の方々への聞き取り調査等の実施も考えられます。</p> <p>4)生徒達の話や関心事変化の有無や授業、特に文化・芸術に関する授業に対しての取り組み態度の変化の有無等々。</p> <p>これらの様々な機会を通して、子どもたちはもとより学校を中心としてPTA、地域社会等多くの関係者と事前事後ともにダンサーやスタッフ等の制作団体との相互間の情報を共有、意思疎通を常に図り、改善を重ねることにより実施校の期待や希望に応えると共に、十分に安心・安全を踏まえ公演の円滑な実施と共に更に高い効果性を実現する事が可能となると考えます。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート 】
演目選択理由	<p>■ この様に本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 世界レベルの優れた文化・芸術への関心度の深化 2) 健康な身体や体力作り、体力向上への取り組みと重要性の理解 3) ダンスレッスンを通じたチームや相互のコミュニケーション能力向上 4) 国際文化交流として隣の韓国のダンサーとの交流を通じ、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感しながら、国籍や民族が異なっても同じ地球に住む人間どうしであることを実感してもらいたいと思います。 5) ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目、強調される日本の『チーム力』、特に複数名で組むダンスによるチームワークの大切さ、必要性を学ぶ等の体験機会や実感を与えます。そして日本の誇れる優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒達に提供し、認知と理解を深めて頂く絶好の機会とします。 <p>■ 次にこれまで学校巡回公演実施をさせて頂いた先生方の声を紹介させていただきます。</p>	<p>一緒に踊る場面があったり、反応を求められる場面があったりと、参加型の公演であった。その為、発達段階の違う1年生から6年生までが90分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味・関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じることができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となった。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。 ・子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する機会を与えることができ、たいへんありがたく思います。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を動かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。 ・所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。 ・予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独自で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当に良かったという感想をもてた。 ・全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使ってのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることも収穫だった。 <p>(巡回公演 『これがヒップホップダンス！』フィードバックシートより抜粋)</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】
演目概要	<p>学校コンサート(2024)構成 -日韓トップダンサーの競演- 『これがヒップホップダンス!』</p> <p>MC (前説明)2分 《オープニング》(3分) M1 テーマ曲 出演者全員登場 (2分30秒) 第1章 ヒップホップダンス? (15分) MC (ヒップホップダンスとは?を、紹介) ①バックダンスとは (ダンサーが出てきて紹介後、踊りのパターンを紹介) ②ストリートダンスとは 同 上 ③ブレイクダンスとは 同 上 各スタイルの特徴を生かしたダンスを披露。ヒップホップの最高テクニックを披露することで、より近くにダンスを感じられる様に工夫 また、照明音響等効果を駆使して、ダンスシーン最先端の表現を見て、感じてもらう。 第2章 ヒューマンビートボックス HB・ボイスパーカッションの一種) (10分) MC (ヒップホップの種類でヒューマンビートボックスを紹介・説明) M5 ヒューマンビートボックス ダンス以外のヒップホップ文化の一つである、ヒューマンビートボックス。ここで韓国からのビートボックスとして登場し妙技を披露し、日本チームダンサーと競演する。ダンス以外の文化にも触れながら、ヒップホップの魅力を違う角度から感じてゆく。この交流をきっと児童生徒たちは、目を丸くして、驚きの中で、時間を過ごすことだろう。 第3章【THE BATTLE】(20分) MC (バトルの歴史と面白さ) M2 戦い入場の音楽 □ M3 戦い チーム赤 VS チーム青 (観客に勝負を決めてもらい、表彰式) □ M4 表彰～退場曲 □ ダンサーを2チームに分け、ダンスを競い合う楽しみを体感。又、学校の状況によりもし可能であれば先生方だけのチームを編成、出場頂きパフォーマンスを披露頂く。 そして児童生徒たちに勝敗を判定してもらう。 M5退場曲 バトルの歴史を紹介しながら、武器による戦いではなく、文化による戦いを強調。そして、最後は、握手によって、ノーサイドになることを見せてゆく。 第4章みんなで踊ろう!! (20分) MC (みんなで踊ることを提案) M6 みんなで踊ろう 賑やかに、全員で、ヒップホップを習い、踊る! ダンサーたちの自己紹介を含めて、全員で、ダンスの練習。皆のレベルに合わせて、最後は全校合同で、賑やかに、ヒップホップを踊る 第5章 質問コーナー (10分～) MC (子供たちとダンサーとの質疑応答、或いはサプライズコーナーあり) 賑やかなひと時を終えて、興奮冷めやらぬ雰囲気の中で、質問会を行う。 児童生徒とダンサーとがさらに近づき、別れがたい印象が強まってゆく。 終章 エンディング (5分) M7 エンディング(友好B) 出演者全員登場 最後は、もう一度、照明や映像溢れる中で、一人一人を紹介しながら、ダンサーたちの、得意なテクニックを披露しながら、大団円を作り上げてゆく。 総計90分 【出演者】 10 名 ・ダンサー 日本 …ロックダンサー 3名 ポップダンサー 2名 韓国 … ブレイクダンサー3名 ・ヒューマンビートボックス… 1名 ・司 会 女性 … 1名 合計10名 ※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸人・ダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。- すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらおうことを狙いとしていま</p>	





これが HIPHOP!

ヒップホップダンス!
— 日韓トップダンサー夢の競演 —



がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこう ぶんかげいじゆつだんたい じつえん げいじゆつ じゅんかい こうえん おこ こだも しつ たか ぶんかげいじゆつ
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行ない、子供たちが質の高い文化芸術を
かんしょう たいげん きかい かくほ こだも ゆた そうぞうりよく そうぞうりよく しこうりよく
鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション
のうりよく やしな しょうらい げいじゆつか かんきやくそう いくせい すく ぶんかげいじゆつ そうぞう し
能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



ヒップホップダンスって何だろう？

路上で若者たちによって生まれ世界的に広がっているヒップホップダンス。そのダンススタイルは今もダンサー達により数多く生み出されています。その中で代表的な3つのダンススタイルをこのステージでご覧ください。

●ロックダンス

ロック (lock) とは鍵を言い、激しい動きから静止、体が固まった様に止まりポーズを取るスタイルです。ダイナミックなとてもメリハリがあるダンスです。

●ポップダンス

ポップ (pop)、体・筋肉を弾くという意味からこう呼ばれ、動きが面白くロボットダンスと呼ばれるスタイルもあります。特に有名なマイケル・ジャクソンのムーンウォークもポップダンスに含まれます。

●ブレイクダンス

ブレイク (break) は片手で逆立ち回転したり、頭や背中だけでグルグルと回り終わりに決めポーズとる等のアクロバティックなダンススタイルです。日本の若い男女のブレイクダンサーがユースオリンピックや世界の大会で優勝する等、大活躍しています。

これが HIPHOP! DANCE



これが HIPHOP! PROGRAM

オープニング

第1章 ヒップホップダンス

第2章 ヒューマンビートボックス

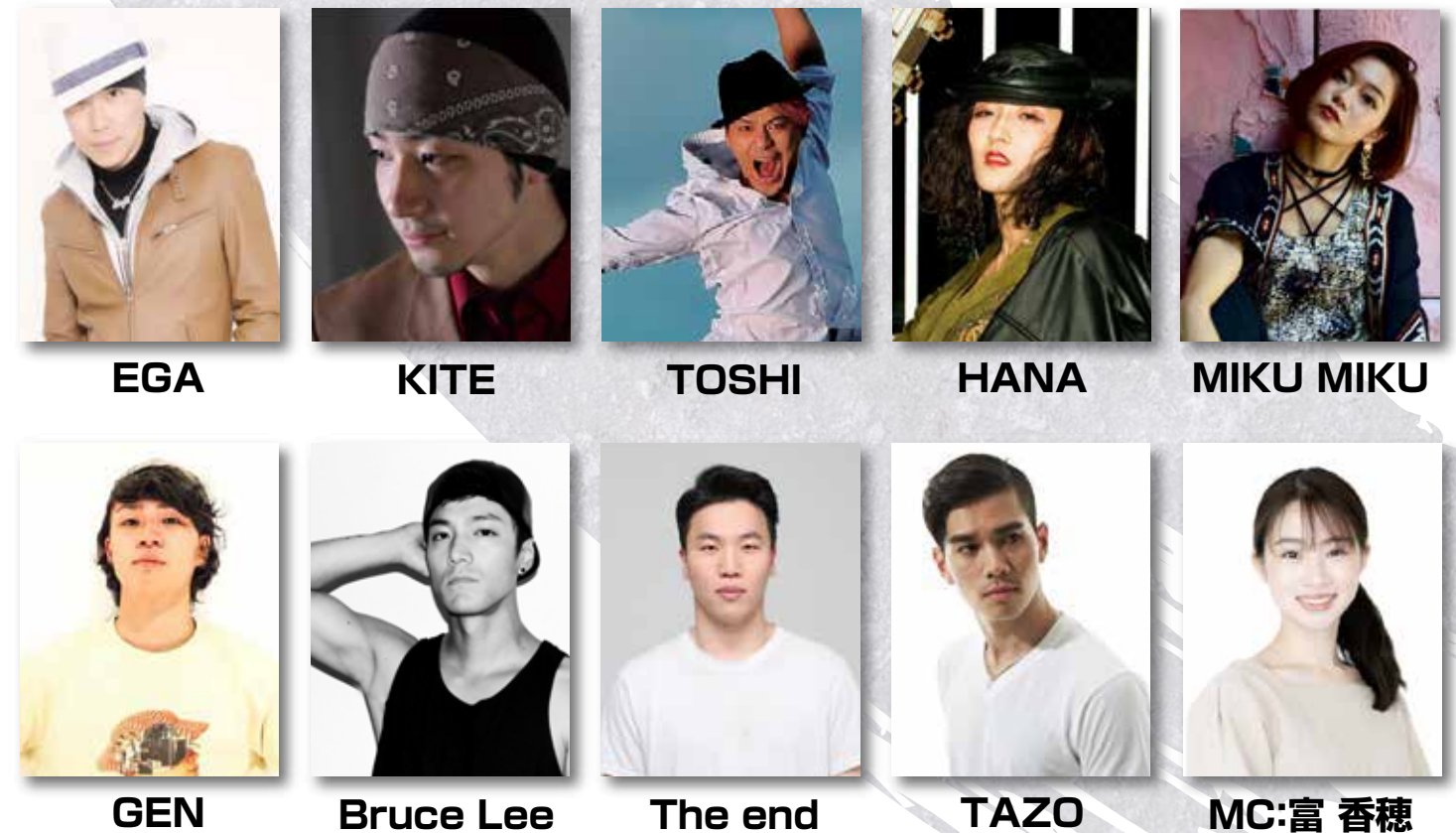
第3章 THE BATTLE

第4章 みんなで踊ろう!!

第5章 質問コーナー

エンディング

これが HIPHOP! DANCER



■令和6年度公演出演者（予定）氏名：本名リスト

人数	芸名	本名
1	E G A	江頭 耕治
2	HANA	光嶋 葉菜
3	MIKU MIKU	橋口 未来
4	T O S H I	中澤 利彦
5	K I T E	政井 海人
6	G E N	松本 元樹
7	Shorty_force	ソン スヨン(SUNG SEUNGYONG)
8	MIGHTY1	チュン ヨンホ(JUNG YUNHO)
9	TAZO	ハン サンホ(HAN SANGHO)
10	MC : TOMIKAHO	富 香穂